



聖母ニュース



編集・発行
社会福祉法人聖母会聖母病院
〒161-8521
東京都新宿区中落合2-5-1
TEL03-3951-1111
<https://www.seibokai.or.jp>

アベマリアのタベ

開催日：2024年7月19日(金)

- 写真 右 暁星小学校 聖歌隊
- 写真 下右 暁星中学・高等学校 合唱部
- 写真 下中上 聖母病院 職員有志
- 写真 下中下 合唱団 ふきのとう
- 写真 下 開会前の 病院長挨拶



◆理 念◆

愛をもって病める人を癒されたキリストにならい、国籍、信仰、貧富を問わず、心の通う医療を提供して病める人々の身体的、精神的、社会的、霊的ニーズをみताす。

◆基本方針◆

1. 生命を尊重し、最善の医療をおこないます。
2. 地域医療機関および福祉施設等と連携し、安心できる医療をおこないます。
3. 病院の理念に基づいて質の高い医療人を育成します。

◆患者様の権利と責務◆

患者様には次の権利が保障されています。

1. 平等かつ適切な医療を受けられます。
2. 人権が尊重されます。
3. 病気、治療について十分な説明が受けられます。
4. 医療内容を選択または拒否できます。
5. 個人情報やプライバシーが守られます。
6. セカンドオピニオンを求めることができます。

患者様へのお願い(責務)。

1. 適切な医療を受けるために、健康(病状)に関する情報を正しくお知らせください。
2. 医療行為に関して納得したうえで意思を明らかにし、指示に従ってください。
3. お互いによりよい治療と療養生活を送るために、定められた規則を守ってください。

聖書のことば

主は、諸国の間を裁き、多くの民の仲裁を行われる。彼らはその剣を鋤に、槍を鎌に打ち直す。国は国に向かって剣を振りかざすことなく、もはや戦うことを学ばない。(イザヤ2:4)

He shall judge between the nations,
and impose terms on many peoples.
They shall beat their swords into plowshares
and their spears into pruning hooks;
One nation shall not raise the sword against
another, nor shall they train for war again.
(Isaiah 2:4)

You are what you eat (あなたは、あなたの食べたものでできている)

副院長 田中 敏明

今年も、そうめん、アイス、スイカなどの冷たいものを欲する酷暑になりました。

海外では表題のような決まり文句があるほど食は健康に直結しているという考えがあります。日本でも土用の丑の日に「う」のつく物を食べると病気をしないという風習があり、梅干し、うどん、牛肉(うし)などを食べていましたが、一番に思い浮かぶのはうなぎではないでしょうか？

旧石器時代の遺跡にもうなぎを食した跡があり、日本人には馴染みのある食材だったようです。元々は鮎の塩焼きのようにそのまま串うちして味噌や醤油をつけて焼いただけだったものが、江戸時代には開いて骨を抜き焼いて

蒸して、さらにまた焼いてと手を加えて今の形に進化したとのこと。福沢諭吉が「学問のすずめ」のなかで「世界第一美味の飛切」と評するまでにうなぎ料理を進化させたのは、日本人の食への情熱の賜物のように思います。

先日うなぎの完全養殖実用化のニュースがありました。うなぎ好きが高じて世界中の鰻を絶滅寸前にまで追いやる状況に至ったかと思えば、食べない選択をするのではなく到底不可能と言われていたうなぎの完全養殖を実現しようとするなんて、日本人の食への底知れぬ探究心を感じずにはいられません。

酷暑が続きますが、先人の努力によって美味しいものが揃っている日本、食同源を目指して夏を乗り切りましょう。

175号の内容

You are what you eat	1	聖母病院創立物語 第11回	3
皮膚科通信 第1回	2	お知らせコーナー	3
麻酔科通信 第1回	3	外来診察表	4

皮膚科通信



子どもたちの紫外線対策

皮膚科 部長 小林里実

オゾン層の減少により紫外線による皮膚癌の発生が増加しています。対策は出来ていますでしょうか。成人女性には美容の観点から日焼け止めを塗る習慣が浸透していると思います。最近では成人男性にも広がってきました。ただ、皮膚癌の発生に最も注意しなければならないのは子どもたちです。一生で浴びる紫外線量の半分以上を子どもの時期に浴びると言われています。子ども時代は体育やプール、野外活動や放課後の遊び、スポーツクラブなど、戸外での活動が多く、これらは心や体を育むのに大切です。しかし、子どもの皮膚は薄く、紫外線の影響を受けやすいのです。

UVB(紫外線B波)は細胞のDNA(遺伝子)を傷つけ、同時に皮膚の免疫も低下させた結果、免疫力が遺伝子の傷を修復できないと皮膚癌になるのです。紫外線は目にも白内障をもたらします。では、丈夫な骨を作るのに必要な皮膚でのビタミンD活性化に必要な紫外線量はどのくらいか、ご存知ですか？ 8月1日の昼頃なら、皮膚の25%(例えば顔と両腕)にたった3分、1月1日の昼頃なら50分浴びれば十分です。うす曇りの日でも80%の紫外線が届きます。日陰に入ると50%に減少、雨の日で30%の紫外線を浴びています。標高が1000メートル上がる

ごとに紫外線量は10~12%増加します。反射光も大切で、雪山では80%、砂浜では25%も跳ね返って皮膚に届き、その分がプラスになります。

世界一皮膚癌が多いオーストラリアのビクトリア州では、1980年代よりBeing SunSmart活動を実施した結果、40歳以下のメラノーマ(悪性黒色腫)が減少しています。それは、Slip! Slop! Slap! Seek! Slide! — Slip on a shirt(袖付きシャツを着よう)/Slop on some sunscreen(日焼け止めを塗ろう)/Slap on a hat(帽子をかぶろう)/Seek shade(日陰に入ろう)/Slide on some sunglasses(サングラスをかけよう)です。同じ活動を米国でも実施しており、5月の最終月曜日(メモリアルデー)の前の金曜日を「Don't Fry Day」として、Slip! Slop! Slap! Seek! Slide (Wrap!)を開始し、子どもたちを紫外線による皮膚癌や白内障から守ろうと呼びかけています。帽子はツバが6cm以上なら顔への紫外線曝露を減らすのに効果的です。日本ではプールの授業で日焼け止めを使用して良いか、議論が続いています。ウオーターブルーフの日焼け止めであれば水質汚染は許容範囲であるとのデータが出ています。プールサイドに日よけを設置する、ラッシュガードや皮膚を覆う水着の着用、屋内プールの利用など、子どもたちを紫外線から守るための対策が必要ですね。



麻酔科通信



“麻酔科”をご存じですか？

麻酔科 松本 都

みなさま、こんにちは。

今回は「麻酔科」についてお話させていただこうと思っています。「麻酔科」は内科や小児科と違い、手術のご経験がないとなかなか接したことのない診療科なのではないでしょうか。

実際、中心となる業務は手術における麻酔・全身管理になります。術前診察を行い、手術内容や年齢・合併症に合わせた麻酔方法を選択し、安全に手術を受けていただけるようお手伝いをさせていただいております。

当院では、それに加え無痛分娩・ペインクリニックに主に関わっております。出産の際に無痛分娩をご希望される方は、事前の説明・診察、出産時の無痛処置で接する機会があります。ペインクリニックでは帯状疱疹後神経痛、三叉神経痛、慢性的な関節痛といった「痛み」に対して治療を行っています。線維筋痛症やCRPS(複合性局所疼

痛症候群)、小児の慢性痛のような、治療に専門性を要する疾患であれば、他施設への紹介も行っております。施設によっては集中治療や緩和医療を麻酔科が中心となって行っています。救命救急センターにも必ずと言っていいほど麻酔科医が常駐しています。血圧や心拍数、体温などの手術中の全身管理は集中治療領域に、麻酔における疼痛管理はペインクリニックや緩和医療といった痛み治療の分野に通じており、医療が発展していく中で自然とそういった分野へと進出していったものと考えられます。

例えば内科医を志した場合、まずは一般的な内科領域について満遍なく学び、そこから消化器科であるとか循環器科であるとか専門性を高めていきます。麻酔科も狭い領域のようですが、その中で細分化され、心臓麻酔・産科麻酔・小児麻酔・ペインクリニック・緩和医療・集中治療・救命救急などへと専門性を高めていくのです。

当院でも産科を中心とした病院の特性に応じた麻酔科としてのかかわり方で、みなさまのお役に立てるよう、日々研鑽を重ね精進しております。

病院建設反対運動

小児科 部長 猪野雅孝

下落合の広大な土地を購入し、病院と老人ホームの建設計画が具体化したころ、困難な問題に直面しました。周辺の地元住民による病院建設反対運動です。1928年(昭和3年)10月に病院建設反対の陳情書が落合町の住民から天主公教会(カトリック教会)のシャンボン大司教に届けられました。病院建設反対の陳情書は次の通りです。これには「病院反対理由」が3つ書かれていました。

陳 情 書

拝啓、今般当町大字下落合字本村669～671番地内、約4,500坪の地域にわたり貴教会堂並びに付属の孤児院及び病院、養老院設立のご計画がある由と承っておりますが、後記の者一同は先の理由によって病院設立には絶対反対の意思を有しておりますことをここに申し上げます。

病院反対理由

1. 当落合町、とくに大字下落合は高台にあり、所々に谷地が入りこみ、樹林が点在して繁り、地下水は豊富に湧き、自然の風致に恵まれて、住宅地としての評価が高いことは、前々から世人の認めるところであり、たとえ、将来住宅増設の場合においても、なお、その天然の面影によって、良好な居住地とすることが出来るのは、誰もがうなずくところであります。
2. 今般病院を建設されることになっている土地は、最も景勝な地とされた半島状の高台であり、周囲の住宅は大体広々とした庭園を持っていることで、下落合地内における住宅地としては、最も優良な環境を保っている地区であります。
3. このような地域に病院を設けるときは、患者が来ることで居住者に不快感を与えるだけでなく、空気を汚染し、病毒を撒き散らし、廃棄物などのために土地を汚し、低地区域の水質を不良にさせるなど、居住者に迷惑をかけ、危害を及ぼすことは必至であります。隣村野方町に東京市療養所設置以来、その付近一帯は近郊の市民が嫌悪し、これを避ける所となって土地の価値を全く失ったことは明らかな実例であります。これに加え、痰が飛び散る等のため、付近の農民で農作業やその他の機会に知らないうちに病毒に感染する者が多いことを聞き、実にぞっとするものであります。



東京市療養所(現在の江古田の森公園内) 1926年(大正15年)

以上述べた理由によって、後記の者(署名者)一同は、どうしても病院建設に対しては黙って見過ごすことができないのであります。

現在、江古田の森公園となっている敷地には、かつて結核療養所がありました。1920年(大正9年)に開設された病床500床の東京市療養所です。下落合の住民が病院建設に反対した理由の一つが「結核療養所ができるのではないか」という懸念でした。陳情書には落合町大字下落合480番地から753番地までの住民335名の毛筆による署名簿が添えられていました。おもに病院の北側から東側にかけての住民でした。この問題に関しては、陳情書と署名簿が残されているだけで、天主公教会からマリアの宣教師フランシスコ修道会(FMM)にどのように伝えられたのか、天主公教会やFMMが反対運動にどのように対応したのか、などについての記録はほとんど残されていません。陳情書が提出された10か月後の1929年5月にFMMの東京修道院が創設され、その1年後の1930年5月に病院の建築工事が始まりましたが、その間のシスターたちの活動が地域住民に認められて、ある時点から全面支援に変わったと伝えられています。

お知らせコーナー

●● 認知症相談のご案内 ●●

私も認知症ではないかしらとご心配されている方、認知症患者様ご自身のお悩みや、認知症患者様の介護に苦勞されている皆様のご相談に認知症看護認定看護師が対応いたします。

認知症を正しく知れば、解決策が必ず見えてきます。
一人で抱え込まないで一緒に考えていきましょう。

【対象となる方】 当院に通院されている方およびそのご家族
*ご家族だけでもご利用いただけます。

【費用】 無料

【相談時間】 10:00～16:00 1回約45分(予約制)

【ご予約の方法】

平日 8:30～16:00 03-3951-1111(内742)

看護部 荒木までお電話ください。

勤務の都合上、対応できない日もございますがご了承ください。



介護予防講座

聖母お元気倶楽部

《日時》 2024年8月22日 木曜日
《場所》 聖母病院 5F講義室
《時間》 受付開始13:15
13:30～15:30 (入退場自由)

～いきいきと笑顔で年を重ねましょう～

1. 「ウォーキングについて」
「自宅でもできる介護予防運動」
講師：聖母病院理学療法士 青 正樹 安井善雄
2. 「薬との上手な付き合い方」
講師：聖母病院薬剤師 竹内なぎさ
3. 交流会

※事前の申し込みは不要です。直接お越しください。
聖母病院

外来診察表

◇お知らせ◇ 当院は原則予約制です。ご予約のない患者さまは、お待ちいただく時間が長くなる可能性のあることをご承知ください。

(令和6年 8. 1～)

			月	火	水	木	金	土 (第3週休診)
内 科	午前診療	①	濱松 永昌	宮本 大介	北濱真理子	宮本 大介	濱松 永昌	宮本 大介
		②	小野 真理	市瀬 裕一			小野 真理	市瀬 裕一
		③	宮田 由紀	渡邊 成美	桃井 瑞生	安藤 稔/第5.休		稲垣 裕介
		④	伊藤 直人	伊藤 直人	岡野 真弓	伊藤 直人	佐々木順子	
		⑤	庫川 恵理	宮田 由紀	庫川 恵理	井上ゆか子	岡野 真弓	庫川 恵理
		⑥	藤井 大輔	八尾 厚史		藤井 大輔		
	午後診療	①	宮本 大介	北濱真理子	鈴森知沙季	宮本 大介	砂金 瑛実	
		②	伊藤 直人	小野 真理	桃井 瑞生	安藤 稔/第5.休	第1.3.5 宮本大介	
		③	藤井 大輔			宮田 由紀	交代制	
		④	交代制				第2.4 藤井大輔	
総合診療科 (院内標榜)	午 前			南郷 栄秀				
	午 後				南郷 栄秀	田中 祥子		
内 視 鏡	午 前	鈴木辰典(内科)	松延修一郎(外科)	濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科) 宮野省三(外科)	勝海 愛(内科)	井上幸紀(外科)	
	午 後			濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科) 宮野省三(外科)	田中敏明(外科)		
外 科	午 前	井上 幸紀	井上 幸紀	松延修一郎	田中 敏明	井上 幸紀	田中 敏明	
乳腺外科	午 前	加藤 昌弘	菊山みずほ(リンパ浮腫)	菊山みずほ	菊山みずほ		菊山みずほ	
	午 後	加藤 昌弘	神野浩光/岩瀬 哲					
泌尿器科	午 後	勝井 政博			勝井 政博			
整形外科	午前	①	小川 政明	橋本 健史	小川 政明	小川 政明	三箇島吉統	交代制
		②	小林 亜里	小林 亜里	土岐 尋江	小林 亜里		
		③	土岐 尋江	増渕 茉侑		第1.3 村越 薫 第2.4.5 土岐尋江		
	午 後		宮本英明 14:00～15:30 (予約のみ)					
産婦人科	午前	初 診	兼子 絢華	坂井 健良(8:45～)	堀口佳奈子	増澤 利秀	小野あすか(9:30～)	宮越 敬
		再 診	山内 潤	山内 潤	増澤 利秀	山内 潤	宮越 敬(10:30～)	増澤 利秀
			山内 美和	宮越 敬	山内 美和	山内 美和	戸田 里実	戸田 里実(～12:30)
	午後診療				胎児診断外来/宮越 敬	腫瘍外来/片岡史夫		兼子 絢華
小 児 科		①	江崎奈緒子	岩丸 良子	江崎奈緒子	大塚 素子	江崎奈緒子	大塚 素子
		②	前田 由美	前田 由美	新貝千賀子	前田 由美	高橋 美希	前田 由美
		③	山中 聡子	隔月1回 石田 悠(神経)		第3除く 岩丸良子(神経) 第3 松井順子(神経)		第1.5 松井順子
		④		江崎奈緒子(予防接種)	前田由美(予防接種)	高橋美希(予防接種)	大塚素子(予防接種)	
	乳幼児健診			大塚 素子	山中 聡子	猪野雅孝(BCG)	岩丸 良子	
	1か月健診		猪野 雅孝	大塚 素子	猪野 雅孝	前田 由美	岩丸 良子	
			前田 由美	岩丸 良子	山中 聡子	大塚 素子	高橋 美希	
	江崎奈緒子		新生児フォローアップ/猪野雅孝 心臓/島田衣里子第2月除く	アレルギー/前田由美 夜尿症/大塚素子 予約/岩丸良子	アレルギー/前田由美 新生児フォローアップ/猪野雅孝 新生児フォローアップ/山中聡子	神経(月1回)/衛藤 薫 予約/岩丸良子	アレルギー/江崎奈緒子 予約/大塚素子 予防接種/岩丸良子 予防接種/高橋美希	
精 神 科			永富めぐみ	永富めぐみ	非 常 勤	永富めぐみ	永富めぐみ	永富めぐみ
耳 鼻 咽喉科	午 前		中川 秀樹	中川 秀樹	横井 秀格	齋藤康一郎	中川 秀樹	中川 秀樹
	専門外来		大石 直樹		第2 斉藤秀行		交代制(慶應大・杏林大)	
眼 科	午前		太根 ゆさ	戸ヶ崎英理奈	戸ヶ崎英理奈	戸ヶ崎英理奈	海田 千恵	第2.4 戸ヶ崎英理奈
	専門外来		不定期 戸ヶ崎英理奈		河井 明佳	落合 淳一	非 常 勤	非 常 勤
皮 膚 科	午前	1 診	松田 薫	松田 薫	小林 里実	平山愛里彩/松田 薫/交代制	第2.4 小林里実	松田 薫
		2 診	平山愛里彩	平山愛里彩	矢作 美奈	西山有希子	第1.3.5 平山愛里彩	平山愛里彩
		予約外来	川上 理子	小林 里実	川上 理子	特殊治療/小林里実	西山有希子	
	午後	専門外来	小児皮膚科・小児レーザー/ 川上理子	乾癬・掌跖膿疱症・小児し ーザー/小林里実	小児皮膚科・小児レーザー/ 川上理子		乾癬・掌跖膿疱症/ 小林里実	
			掌跖膿疱症性骨関節炎/ 石原陽子	ピーリング/ 平山愛里彩 松田 薫	乾癬・掌跖膿疱症/ 小林里実		光線・学童/平山愛里彩	
			光線・学童/松田 薫		光線・学童/矢作美奈			

* 休診日：日曜、祝祭日、第3土曜日、クリスマス（12月25日）、年末年始（12月30日～1月3日）

予約センターについて

代表電話からはお繋ぎする事ができません。

全科診療予約については、予約センターにて受付致します。下記時間内に直通電話にてご連絡をお願い致します。

予約受付時間	平 日	9:00～16:00
	土曜日	9:00～12:30(第3土曜日除く)
予約センター電話番号	03-6908-1717	

※産婦人科・乳腺外科以外の科は、当日予約は受け付けておりません。
※検査の予約変更・キャンセルについて、医療上のご質問がある場合は各科外来へご連絡ください。
※診療状況によりご希望の日程で予約が取れない場合がありますが、予めご了承ください。

編集後記

感動冷めやらぬ“パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会”。熱戦の様子が記憶に新しいところですが、この大会は従来と比べて温室効果ガスの排出量を半分に抑えることを目標に掲げ、大会期間中に使用された選手村の各部屋に、エアコン設置がされませんでした。床下のパイプを流れる冷水で、室温を6℃程度下げるシステムが導入され、史上最も地球環境問題に配慮した大会運営を目指したそうです。気候変動が進み、猛暑、高温は深刻さを増すばかり…世界全体が協力し、適応策と緩和策に取り組む必要を感じる今日この頃です。(T.O)

